活動報告

団体名	北海道NPOサポートセンター
活動名	多様な支援者による協働を促進するためのコーディネート事業
活動期間	2019年4月1日～2019年9月30日
活動の成果	<p>被災3町（厚真町・むかわ町・安平町）で支援をしている人たちの連携促進のため情報共有会議を開催するとともに、札幌市で被災地の状況を伝え支援を促すための企業に対して説明会を開催した。また、情報共有会議及び現地の支援活動から浮かび上がった課題を解決するために必要な支援者同士の連携構築や事業形成のサポート、調査活動をした。</p> <p>情報共有会議では次の成果があった。①災害VCで対応できない課題の共有(ex 非住家・商店の問題、生業関係（炭窯、農業支援等)、②行政、社協、NPOの連携の構築、③3町の現状・取り組みの共有。</p> <p>「支援をしたい人と活動をしている団体とが繋がる機会」を提供することが出来た。胆振東部地震の支援活動から発展し、今回の胆振での支援経験を次の災害に活かすために団体同士のネットワーク化ができた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆さまの寄付のおかげで活動を継続することができています。当法人の活動は直接の被災者支援ではありません。NPOと市民、NPO同士、NPOと行政・社協とをつなぐコーディネートの活動になります。単独の団体・個人では解決できない被災者の課題を、支援者同士が協力し合うことで解決の糸口が見つかることがあります。今回の被災地でも連携による課題解決が幾つもありました。</p> <p>情報共有会議を続けることで被災から1年が過ぎた今でも新たな被災者の課題が出てきたり、積み残されている課題が明らかになったりしています。本助成を通じて団体同士のネットワーク化も進みました。引き続き、被災地に寄り添いながら継続して活動をしていきます。</p>